

2 2. ^{なかせんだう}中山道—^{うすいとうげごえ}碓氷峠越

選定箇所：坂本宿～碓氷峠（群馬県安中市）～追分宿（長野県軽井沢町）※1

概要：上野国坂本宿（群馬県）と信濃国追分宿（長野県）をつなぐ道である。坂本宿から約9.0kmの道中に昔の面影を残しており、「本陣跡」等多くの文化財が残る。国堺にある標高約1200mの碓氷峠を越えると、浅間山南麓、標高1000m前後の高冷地に軽井沢宿・沓掛宿・追分宿の3つの宿場町がある。碓氷峠を控え信濃国玄関口の軽井沢宿、草津道の分岐点に位置する沓掛宿、中山道と北国街道の分岐点に位置する追分宿の3つの宿場町は、「浅間根腰の三宿」とよばれ、交通の要所として多くの旅人が往来し繁栄した。

※1 選定箇所の現況

- ・碓氷峠の峠町から軽井沢宿に下る推定の道は看板等がないため分かりにくい。
- ・軽井沢宿から沓掛宿に向かう途中、「離山」の信号から先がしなの鉄道の線路により消失。
- ・前沢から沓掛宿江戸口に向かう道が、しなの鉄道の線路等により消失。
- ・古宿から借宿へ向かう途中、ラウンドアバウト付近の道が消失。



剝石坂（群馬県）



追分宿京口の分かれ（長野県）
左は京（京都）へ通ずる中山道、
右は越後（新潟県）に通ずる北国街道